

これまでの自治基本条例推進委員会

◆ 自治基本条例推進委員会ができるまで

- ・ 市民協働まちづくり研修会(H21) / 市民協働まちづくり検討会(H22)
 - ・ 市民協働推進会議開催(H23～25年9月まで)・・・会議・グループワーク等 全124回！
- ⇒ 「福知山市自治基本条例の制定」「地域協議会の導入」「中間支援組織の設置」の提言

第1期

(1)第22条(審議会)の運用状況について

市民公募を行っていない審議会に対して、次期改正時に公募実施するよう提言。

(2)地域づくりと人材育成

地域活動に参加してもらうことで、まちづくりの人材や意識は育っていく。若者が参加できる場を意図的に設ける。可能ならば、一定の役割を任せる。行政は、直接サービスを提供することよりも、市民同士で協働してできるような仕掛けをつくることが重要。

- ・ 行政の動きだけでなく、市民にも協働の意識を広めなければならない。
- ・ 自治基本条例の周知が必要
- ・ 地域コミュニティである自治会へのフォローの仕組みが必要。

第2期

(1)地域活動のこれからについて

長期化するコロナ禍での社会活動を進める上で、情報の一方通行・閉塞感が見受けられるが、情報共有をはかり地域活動をどう進めていくのか議論。

(2)市民との情報共有について

どうすれば自治基本条例にそくした情報共有ができるか議論した。

第1・2期においては、主に庁内の取組状況や課題について議論を進めた。

課題:まちづくりは市民が主役、市民が主体的に取り組む活動をどうすればさらに活発になるか議論が深められていなかった。

第3期のめざすところ

- ◆自治基本条例に即した市民による主体的な地域活動を進めていくにはどうすればよいか？
- ・・・「まちづくり構想」にある「市民から市民への21の提案」の具体化を通して考えていく。